

# 第1回 交通政策審議会 鉄道運賃・料金制度のあり方に関する小委員会

---

令和4年2月16日  
国土交通省説明資料

# 1. 鉄道運賃・料金規制の概要

# 2. 他分野・諸外国における運賃・料金制度

# 1. 鉄道運賃・料金規制の概要

## 2. 他分野・諸外国における運賃・料金制度

## 鉄道運賃制度の経緯

- 鉄道の運賃・料金については、昭和62年(1987年)4月に日本国有鉄道法及び地方鉄道法を廃止、鉄道事業法が施行され、J R・民鉄ともに大臣の認可制とした。
- 平成6年(1994年)11月、公共料金に対する国民の関心の高まりから、「今後の公共料金の取扱いについて」の閣議了解がなされ、経営の徹底した合理化、透明性の確保、情報公開の推進、民間企業の自主性の尊重等の基本方針が示される。
- また、平成7年(1995年)3月に閣議決定された規制緩和推進計画において運輸産業の運賃・料金について、各事業の特性に応じ、経営効率化インセンティブの付与、利用者の利益保護の観点から設定方式の在り方等について検討を行うこととされた。
- これらの方針に基づき、鉄軌道の運賃制度について検討を進めた結果、**平成9年(1997年)1月に総括原価方式の下での上限価格制を導入。**
  - 認可が必要な運賃・料金についてはその上限を認可することとし、その範囲内であれば報告により運賃の設定・変更を可能とした。
- 総括原価の算定にあたっては、**J R、大手民鉄及び地下鉄において、グループ毎に事業者間の間接的な競争を通じて効率化を推進する「ヤードスティック方式」を採用**
- 更に**平成11年(1999年)の鉄道事業法を改正により総括原価方式に基づく上限認可制度を法定化**
  - 運賃及び新幹線特急料金は、国土交通大臣の上限認可を必要とするとともに、上限の範囲内の設定、各種料金の設定については届出制。
- 旅客運輸収入が概ね30億円以上の事業者の上限運賃設定・変更認可申請については、本省にて審査が行われ、**運輸審議会への諮問・答申を経て大臣が認可**（それ以外の事業者は、地方運輸局長権限）

# 鉄道運賃・料金制度の見直しについて

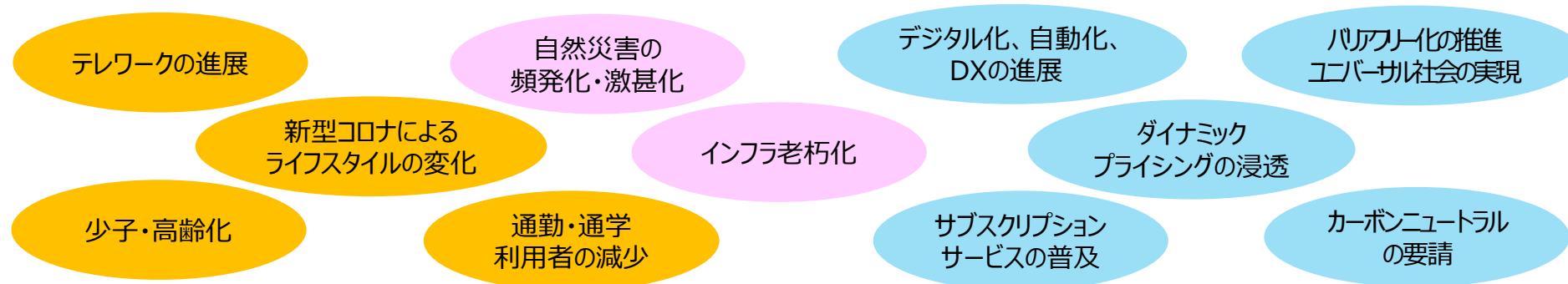
## 現行の鉄道運賃・料金制度について

	<b>運賃</b> ⇒人又は物品の運送（場所的移動）に対する対価	<b>料金</b> ⇒運送以外の、運送事業者の提供する設備の使用 又は運送以外の役務に対する対価
鉄道事業 法上の規制	<p style="text-align: center;"><b>上限認可制</b></p> <p style="text-align: center;">能率的な経営の下における適正な原価に適正な利潤を加えたものを超えないものであるかどうかを審査(法第16条第2項)</p> <p style="text-align: center;">           収入…過去の輸送実績トレンドを基に算定            費用…事業者間の間接的な競争を通じた効率化を推進するため、            業界の標準的なコストを算定         </p>	<p style="text-align: center;"><b>事前届出制</b></p> <p>(在来線の特急・急行料金、座席指定料金、グリーン料金、寝台料金、バリアフリー料金)</p> <p style="text-align: center;">※新幹線の特急料金のみ上限認可制</p>

(現行規制は、需給調整規定の廃止を行った平成11年の鉄道事業法改正において導入。)

# 運賃・料金制度に係る課題

## 1. 社会・経済状況の変化



## 2. 運賃・料金制度に関する鉄道事業者からの要望（例）

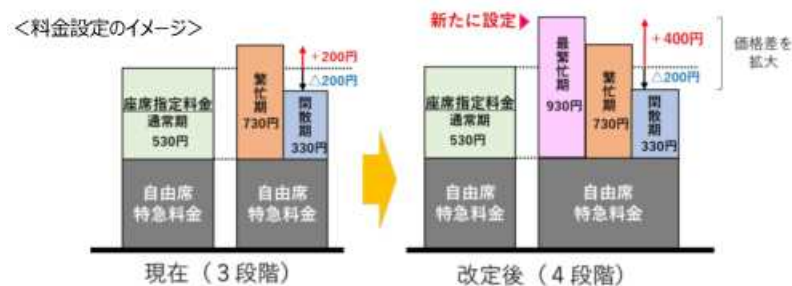
- 利用者ニーズに対応した投資等に係る適切な利用者負担による回収
- 運賃改定に係る審査手続の簡素化、迅速化
- 総収入を増加させない範囲での運賃設定の自由度の向上  
（オフピーク定期券、運賃エリアの見直し）
- 営業路線、需要動向等に応じた柔軟な運賃・料金設定の実現
- 新型コロナウイルス感染症影響や将来の物価上昇リスク等不測の事態に対応できる  
機動的・柔軟な運賃改定の実現

# 運賃・料金に関する鉄道事業者の取組

- 鉄道事業者では、オフピーク時間帯への分散乗車や子育て世代の利用促進、経営状況に応じた料金改定など、様々な運賃・料金に関する取組を実施している。
- これらの運賃割引や料金設定については、現行運賃制度においても届出で設定可能となっている。

## シーズン別指定席特急料金の改定(JR北海道・東日本・西日本)

- 2022年4月1日乗車分から、JRの新幹線や特急の指定席料金の設定を、現在の3段階から4段階に変更
- 利用が特に多い年末年始・GW・お盆期間の料金と閑散期の料金差を拡大することで、閑散期への利用を促進



## 新幹線・特急のグリーン料金等改定 (JR東日本・西日本)

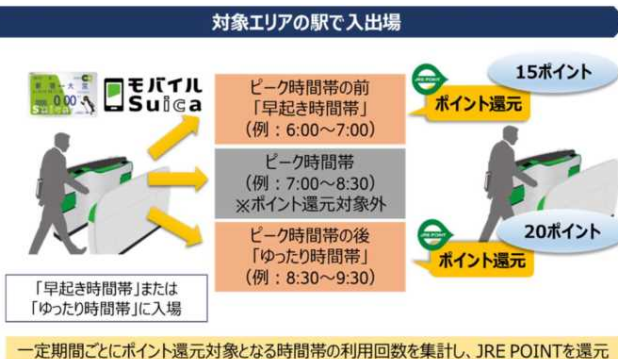
- 利用状況及び経営環境の変化をふまえ、2022年春から、東北・山形・秋田・上越・北陸の各新幹線とJR東日本管内の特急列車の特別車両に適用しているグリーン料金・グランクラス料金を改定
- 現行の料金は、2002年の東北新幹線八戸開業時に利用促進を目的に値下げを行ったものがベースとなっており、一部を除きJR6社共通のグリーン料金と同等の水準とすることなどが主な内容

### グリーン料金の例

営業キロ	100キロまで	200キロまで	300キロまで	400キロまで	500キロまで	600キロまで	700キロまで	701キロ以上
現行	1,050円	2,100円	3,150円	4,190円	4,190円	4,190円	4,190円	5,240円
改定	1,300円	2,800円	4,190円	4,190円	5,400円	5,400円	5,600円	6,600円

## オフピークポイントサービス (JR東日本)

- 利用登録をしたIC定期券を使って、ピーク時間帯の前後に乗車した利用者に対しポイントを付与することで、分散乗車を促進
- たまったポイントは、駅ビルなどでの買い物やチャージして鉄道での利用等も可能



## 小児IC運賃を全区間均一50円に改定 (小田急電鉄)

- 小田急沿線における子育て応援ポリシーの具現化として、小児IC運賃の一律低廉化を行うこととし、小児ICカードを利用する場合、全区間一律50円とする新たな割引運賃を設定
- 暮らしの楽しさの提供や子育てしやすい地域の実現に貢献



5月に実施した「お子さまをお連れの方に安心してご利用いただける車両」

# 新たな料金の導入について(鉄道駅バリアフリー料金)

## 1. 背景

- 鉄道施設のバリアフリー化を加速させるため、令和3年度(2021年度)以降の新たなバリアフリー化の整備目標として、エレベーター等の整備対象駅の拡大やホームドア整備の加速化が盛り込まれた。
- この目標達成に向けて、第2次交通政策基本計画で示された方向性を踏まえ、届出により設定・変更可能な料金の1つとして、鉄道駅のバリアフリー化により受益する全ての利用者に薄く広く負担を頂く料金制度を創設した(昨年12月に鉄道事業法施行規則(省令)を改正)。

＜第2次交通政策基本計画(令和3年(2021年)5月閣議決定)抜粋＞

『鉄道駅のバリアフリー化の推進は、エレベーターやエスカレーター、ホームドア等の整備を通じ、高齢者や障害者だけでなく、全ての利用者が受益するとの観点から、都市部において利用者の薄く広い負担も得てバリアフリー化を進める枠組みを構築するとともに、地方部において既存の支援措置を重点化することにより、従来を大幅に上回るペースで全国の鉄道施設のバリアフリー化を加速する。』

## 2. 制度概要

- 想定事業者：現在、JR本州3社及び大手民鉄等事業者が、三大都市圏内の駅を主な対象として導入を検討中。
- 対象設備：ホームドアやエレベーター等。
- 対象費用：対象設備に係る整備費(維持更新費含む)。
- 透明性の確保：事業者において、事前届出時に整備・徴収計画を公表するとともに、毎年度、整備・徴収実績を公表。あわせて、国土交通省において、事前届出の際及び目標期間終了時(令和7年度(2025年度)末)等において徴収額がバリアフリー整備額を超えていないことを確認。



## 1. 鉄道運賃・料金規制の概要

## 2. 他分野・諸外国における運賃・料金制度

# 公共交通機関等における運賃設定について①

## 【航空（定期国内線）】

○事前届出制

### （メリット）

- ・空席予約数、予約タイミング等に応じた多様なサービスの登場。

### （デメリット）

- ・多客期の運賃水準が高騰する傾向になる。
- ・非競争路線における運賃水準が高めに設定されやすい。

羽田－小松（石川県）便

【ANA】 2021/10/31～2022/1/5搭乗分

普通運賃 23,600円～29,300円  
 特定便運賃※1 12,200円～26,800円  
 特定便運賃3 10,700円～22,700円  
 特定便運賃21 9,400円～22,400円  
 特定便運賃28 8,300円～20,400円  
 特定便運賃45 8,000円～18,600円  
 特定便運賃55 7,500円～18,600円  
 特定便運賃75 7,200円～16,800円  
 ※搭乗日までの日数によって価格が変動

## 【貸切バス・高速乗合バス】

○事前届出制

### （メリット）

- ・季節による繁閑があることから、需給に応じた柔軟な価格設定が可能。

### （デメリット）

- ・繁忙期の運賃水準が上昇する傾向にある。
- ・競合他社が存在しない地域における運賃水準が高めに設定されやすい。

【貸切バス】A社東京駅出発 大型バスの例（～53人まで）  
 （2022年1月現在）※空車状況等によっても変動

	平日	土日・祝日
3月～11月	66,000円～	71,500円～
12月～2月	63,800円～	69,300円～

【高速バス】東京発金沢行  
 （都内B社）

通常発売 9,600円～12,000円  
 閑散期割引（最高） 9,000円～11,250円  
 閑散期割引（最安） 2,520円～3,150円  
 空席予測連動（最安） 1,600円～2,000円

（都内C社）

閑散期割引（最高） 8,000円～10,000円  
 閑散期割引（最安） 3,600円～4,500円  
 間際割※ 2,000円～9,000円

※空席率と予約時点に応じ変動

# 公共交通機関等における運賃設定について②

## 【乗合バス（路線定期運行）】

○上限認可制（総括原価方式）

※地域公共交通会議において、地元自治体、事業者、住民等の協議が調った場合、届出による運賃、料金の設定等が可能（協議運賃制）

### （メリット）

・時期、混雑度等にかかわらず、比較的安価に利用できる。

### （デメリット）

・不採算路線においては運賃収入だけでは経営が継続できない状態が続く。

都営バス普通運賃【東京23区内】

区分	大人	小児
一般系統	210円 (IC 210円)	110円 (IC 105円)
学バス系統	180円 (IC 178円)	90円 (IC 89円)
C・H01系統 (都庁、都議会等経由)	190円 (IC 189円)	100円 (IC 95円)
AL01系統	110円 (IC 106円)	60円 (IC 53円)
東大島駅周辺	420円 (IC 420円)	210円 (IC 210円)

## 協議運賃制の適用事例

### ■新宿区（新宿WEバス）

- ・新宿区において、新宿駅周辺の交通の利便性を向上させ、魅力あるまちづくりを進めるため、2009年4月より、観光スポットや・商業施設、駅等を結ぶ循環型バス（新宿WEバス）を運行。
- ・運賃は、一律100円で運行している。



## 【タクシー】

○認可制(ただし運輸局長が運賃ブロックごとに上限/下限を設定し、申請額がその範囲であれば自動的に認可)

### （メリット）

- ・同一地域ではどのタクシー会社を利用してもほぼ同一の運賃という安心感とわかりやすさ。
- ・不当競争が抑制されることにより運送の安全性や高品質なサービスが確保される。

### （デメリット）

- ・事業者の創意工夫の余地が少ない。

東京都特別区・武三地区 自動認可運賃・料金表（普通車）

	距離制運賃		時間距離併用制
	初乗り運賃 1,052m	加算運賃	
A（上限運賃）	420円	233m 80円	1分25秒
B 運賃	410円	239m 80円	1分30秒
C 運賃	400円	245m 80円	1分30秒
下限運賃	390円	251m 80円	1分30秒

※各事業者は上記より1つ選択し届出

	時間制運賃	
	初乗運賃 1時間	加算運賃
A（上限運賃）	4,700円	30分 2,150円
B 運賃	4,650円	30分 2,120円
C 運賃	4,600円	30分 2,090円
D 運賃	4,550円	30分 2,060円
下限運賃	4,500円	30分 2,030円

## 他の公共料金における料金設定について①

### 【電気料金】

○無規制（H28(2016年).4より小売全面自由化）  
※旧一般電気事業者の小売部門においては一部経過措置料金として認可が必要なものがある。

### 【電気託送料金】

○認可制（総括原価方式）  
※令和5年(2023年)4月1日にレベニューキャップ制に移行後、「収入の見通し（レベニュー）」は承認制、託送料金は届出制に変更

電気料金については、自由化に伴い従来にない電気料金メニューも登場。

### 【具体例】

#### ○再エネ特化型プラン

再生可能エネルギーを100%提供する料金メニュー。FIT電気での提供や、非化石証書を活用したものもある。

#### ○EV向け割引

EV用充電設備を設置しており、かつEVを所有している者に対して通常のプランから割り引く。

#### ○歩数連動割引

健康志向の高まりを背景に、歩いた歩数に応じて電気料金を割り引くサービスを提供。

#### ○節電割引

小売事業者が予め指定する日の最も需要が多い時間帯の節電実施状況に応じて電気料金を割引。

### 【電気通信料金】

#### ○NTT東西（加入電話等）

：上限価格規制+事前届出制（契約約款）

※特別な事情がある場合のみ、総務大臣の認可を得て上限を超える料金を設定可能

#### ○その他の通信会社（携帯電話等）：無規制

※H14(2002年)にユニバーサルサービス交付金を創設し条件不利地域へのサービス提供のためNTT東西の加入電話等に係る費用の一部を利用者の負担によりNTTに補填。

# 他の公共料金における料金設定について②

## 【ガス料金】

無規制

(ガス小売料金はH29(2017年).4~小売全面自由化)

## 【ガス託送料金】

認可制 (総括原価方式)

## 【水道料金】

○事後届出制 (総括原価方式)

※詳細は水道事業者が条例において設定

ガス小売料金については、自由化に伴い従来にない料金メニューも登場。

### 【具体例】

#### ○子育て応援割

小学生未満の子供がいる家庭を対象に、ガス料金を割引。

#### ○オーバー75プラン

ガスを月75m<sup>3</sup>以上使用する場合、一般料金と比べて年間を通したガス料金が安くなる。

#### ○トリプルハッピー割

自社が販売する電気、宅配水を契約し、都市ガスと請求をまとめると、ガス料金を割引。

#### ○生活かけつけサービス

- 電気設備、水回り、鍵、窓ガラスなどよくある生活トラブルに24時間365日対応。
- 作業費、出張費、応急処急処置に必要な部品代も無料。

水道・下水道使用量等のお知らせ		東京都水道局	
Notice of your water and sewage usage		お客さま番号 ① 01-000000-10	
水道 太郎 様			
××区〇〇〇町1丁目1番21号 303室			
標準日 1日	呼び径(mm) 20	メータ番号 3-16298	
使用月分 平成29年 4月~平成29年 5月分	使用期間 3月 2日~ 5月 1日 (61日間)		
今回指針 3.5m <sup>3</sup>			
前回指針 1m <sup>3</sup>			
差引使用量 3.4m <sup>3</sup>	(旧メータ使用量 2.6m <sup>3</sup> )		
使用量 6.0m <sup>3</sup>	前年同期使用量 6.0m <sup>3</sup>		
	水道	下水道	
使用期間料金	9,050円	7,084円	
【内訳】 基本料金	2,340円	1,120円	
従量料金	6,040円	5,440円	
消費税相当額	670円	524円	
③ 今回料金	16,134円 (うち消費税相当額 1,194円)		
	口座振替予定額	108円 (うち消費税相当額 8円)	
	口座振替予定日に振り込まれた場合、口座振替が適用されます。		
④ 口座振替予定額	16,026円		
	Payment to be transferred from your account		
⑤ 口座振替予定日	5月18日	⑥ 次回指針予定日	7月 3日
⑦ 株式会社 ΔΔΔΔ Δ〇〇〇〇株式会社	水道 太郎	電話	03-9999-9999
		東京都水道局	

# 諸外国における鉄道運賃制度について(都市間輸送)

(一財) 交通経済研究所より情報提供

	アメリカ合衆国	イギリス	フランス	日本(参考)
運賃決定方式	<ul style="list-style-type: none"> <li>長距離旅客鉄道は Amtrak(全米鉄道旅客公社)が自由に決定(対抗輸送機関との競争条件や市場の状況等に鑑み価格を決定)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>通常の運賃は国が物価上昇率を考慮した価格改定率を設定(プライスカップ方式)</li> <li>長距離正規運賃や事前購入割引運賃は無規制</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>都市間鉄道は国が決定</li> <li>都市内、地域圏鉄道は各地域圏で決定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>総括原価方式に基づく上限認可制度</li> </ul>
運営方式	<ul style="list-style-type: none"> <li>長距離旅客鉄道は Amtrakによる運行</li> <li>連邦政府が主要株主</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>上下分離方式が基本</li> <li>列車の運行は、フランチャイズ契約を結んだ列車運行会社(TOC)が実施(コロナ禍を機に2023年度から再国有化を軸に制度見直中)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>上下分離方式</li> <li>列車の運行はフランス国鉄が実施</li> <li>フランス国鉄以外の鉄道事業者の参入開始(2021.12~)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>基本的に民間事業者による運営(公設民営方式や公営方式もあり)</li> </ul>
新型コロナウィルス影響等による新たな取組	予約変更手数料の免除、リアルタイム空席状況の表示(予約・購入時に列車ごとにごとの程度座席が販売されているかが表示され、混雑の少ない列車を予約できる。)	リモートワーク対応定期券の発売(28日間のうち8日間まで利用可能)	<ul style="list-style-type: none"> <li>テレワークを対象とした回数券の新設(通常の定期券より割引率は低い、回数制限がありトータルの支払い実績は安くなる。)</li> </ul>	—
運賃改定状況	予約時期、予約状況(混雑状況)等に応じて価格が変動	<ul style="list-style-type: none"> <li>ほぼ毎年実施</li> <li>値上げ率は地域、路線等により異なる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>2021年までの6年間は運賃改定なし。</li> <li>値上げ率は前年度の消費者物価上昇率の範囲内にとどまる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>大手民鉄、JR本州3社はここ20余年実質的な改定なし</li> </ul>



# 諸外国における鉄道運賃の水準について

令和3年4月時点

都市名	ニューヨーク	パリ	ロンドン		東京都	京都市
事業主体	Metropolitan Transportation Authority (大都市交通局)	Régie Autonome des Transports Parisiens (パリ交通公団)	Transport for London (ロンドン交通局)		東京都交通局、 東京地下鉄株式会社	京都市交通局
鉄道名	New York City Subway (ニューヨーク市地下鉄)	Métro de Paris (パリメトロ)	Tube (地下鉄)		東京都営地下鉄、 東京メトロ	京都市営地下鉄
大人運賃等	ICカード 2.75ドル【 <b>319円</b> 】 (一律) (Metro Card (pay per ride))	1回券：1.9ユーロ 【 <b>251円</b> 】 (2時間以内一律)	peak (月～金、6:30- 9:30・16:00- 19:00)	off peak (peak以外)	(都営) <b>178円</b> ～  (東京メトロ) <b>168円</b> ～  (PASMO等)	<b>220円</b> ～
			1.7ポンド【 <b>266円</b> 】 ～ (ゾーン運賃)  (Oyster Card 等)	1.5ポンド【 <b>235円</b> 】～ (ゾーン運賃)  (Oyster Card 等)		
現金購入	3ドル【 <b>348円</b> 】 (一律) (Metro Card (single ride))	1回券：1.9ユーロ 【 <b>251円</b> 】 (2時間以内一律)	5.5ポンド【 <b>863円</b> 】～		(都営) <b>180円</b> ～  (東京メトロ) <b>170円</b> ～	<b>220円</b> ～

(日本円換算は令和4年2/11時点のレートを基準とした参考値)